

## 地すべり等精査について(応桑岩層流堆積物斜面)

■ 応桑岩層流堆積物の各地質区分の強度を把握するため、全露頭を対象に233箇所での針貫入試験を実施した。  
また、掘削直後のボーリングコアを用いて476箇所の針貫入試験を実施した。

露頭における針貫入試験結果

地質区分	試験数 (箇所)	針貫入量の 平均値	貫入勾配 の平均値	一軸圧縮強度換算値の 平均値 (kN/m <sup>2</sup> )
ok(mx)	150	55.7	5.6	2,229.6
ok(r)	2	248.5	24.9	9,665.0
ok(l)	58	57.8	5.8	2,332.4
ok(s)	23	31.3	3.2	1,294.4
合計	233	—	—	—

ボーリングコアで実施した針貫入試験結果

地質区分	試験数 (箇所)	針貫入量の 平均値	貫入勾配 の平均値	一軸圧縮強度換算値の 平均値 (kN/m <sup>2</sup> )
ok(mx)	237	52.7	5.3	2,121
ok(r)	61	98.7	9.9	3,921
ok(l)	178	44.3	4.4	1,792
ok(s)	0	—	—	—
合計	476	—	—	—

参考：岩盤の最大地盤反力度の上限值

岩盤の種類		最大地盤反力度 (kN/m <sup>2</sup> )		目安とする値	
		常時	暴風時、 レベル1 地震時	一軸圧縮強度 (MN/m <sup>2</sup> )	孔内水平載荷試験による 変形係数 (MN/m <sup>2</sup> )
硬 岩	亀裂が少ない	2,500	3,750	10以上	500以上
	亀裂が多い	1,000	1,500		
軟岩・土丹		600	900	1以上	500未満

出典：道路橋示方書・同解説(Ⅰ共通編、Ⅳ下部構造編p.299、2012)

※1MN/m<sup>2</sup> = 1000kN/m<sup>2</sup>